

ライフの学校 がっこう 新聞 ぶんしん

Vol.3

2023年

春

はるごう 号

春の嫁入りの庭

4月の入学式の頃に桜が開花し、新生活を祝っているような「嫁入りの庭」。桜は2種類咲きます。一つは、みなさんもよくきくソメイヨシノ、もう一つはオオシマザクラ。同じ頃、庭に自生しているフキノトウも顔を出します。週末にときおり開催する「暮らしの食堂」でつくった味噌とフキノトウで、郷土料理の「ばっけ味噌」をつくりたいと思っています。おにぎりの具や焼いたお魚やお肉にピッタリ。ぜひ週末のイベントへの参加もお待ちしております！

新葉より先に淡紅白色の花を咲かせます



大きめの白い花と緑の葉が同時に展開。葉が桜餅の葉に使われるため別名「モチザクラ(餅桜)」とも。桜餅でお花見もいいですね！



この辺りでは「ばっけ」と呼ばれますが、地面からつぼみが出て花が咲くことから「お化け」が「ばっけ」になったという説も!?



文:立花ゆりえ・福田明子

スタッフレシピ!

ウランさんのナシゴレン



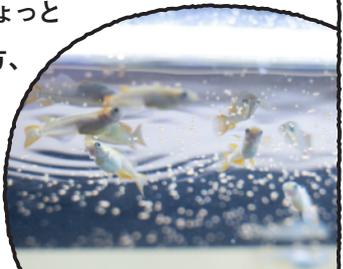
お母さんから教わり、初めてつくった料理。唐辛子やにんにくをたくさん入れ、味を濃くすることがポイント!

- ① キャベツを千切り、玉ねぎとにんにくをみじん切りに (ミキサーがあれば粉々に)
- ② 玉ねぎとにんにく、鶏ひき肉を炒める
- ③ ②に溶いた卵を加え、塩と味の素で味を整える
- ④ ③にご飯とキャベツを入れ、チリパウダー、唐辛子を加えて完成
- ⑤ お椀で盛りつけ、刻みねぎとパプリカをトッピング

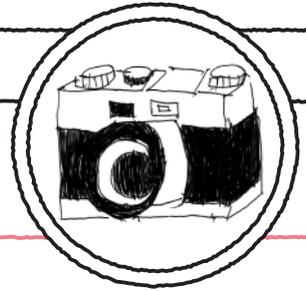
文:佐々木亜優美 高橋彩香

メダカがたのびる

萩の風キャンパスではメダカの飼育と販売を行っています。地域の方から譲り受けたメダカも含めて8種の品種が見られます。特に背中が強い「みゆき」(写真)は育てやすく人気です。メダカの観賞は癒しの効果があるそう。自由に観賞できますので最近ちょっとお疲れ気味という方、ぜひお越しください。



文:畠山待子



くま さか かおる いち まい
熊坂馨さんの一枚

愛用のトラクターと家族とともに

思ったことは
やり遂げる、
農業への熱意



自宅前にて70歳頃の熊坂馨さん(左)。愛用のクボタのトラクター、妻(右)、トラクター会社の人(中央)と。

はぎの風キャンパスで過ごす熊坂馨さんは、半世紀以上、農業に人生をかけてきました。自分がよいと思ったことを貫き通す。そんな熊坂馨さんの人生の一端を紹介します。

結果はついてくる

農家の家に生まれた馨さん。少年時代からできることは何でも手強い、お米をはじめキュウリやナス、トマトなどさまざまな作物を育ててきました。「モノをつくって育てるのは好きだった」と語ります。

高校を卒業したあとは、雨の日も風の日も夏の暑い日も、ほぼ休まずに仕事をしていたそうです。そんな努力が実を結び、米づくりでは5年間連続、仙台市で出荷が最も早かったため表彰されました。「1位になろうとしてやったわけじゃなくてさ、簡単に言えば熱意だね。どうすれば収穫が上がるのか、いろいろ考えて工夫して貫いて。その努力の結果がついてきたんだね」。そう語る馨さんの言葉からは、周りの目や余計なうわさ話に振りまわされないという、これまで積み重ねられた経験や信念、誠実さがにじみ出ています。

怪我を乗り越えて

72歳で腕に大きな怪我をしました。ですが、80歳まで義手だと感じる事が無いほどに農業を行っていたとのこと。この間、仲間にパソコン教室を教してもらいパソコンも使うように。「言葉では表わさんねけっどさ……、なんとか使いこなしたがるさ」という一言に、それまでの苦労や努力が込められているように感じました。

「みんなの畑」といま

ライフの学校で取り組む「みんなの畑」では、馨さんに助言や指導をお願いしています。「これからも畑をお願いします」と伝えると「んだな。スタッフのみんなは素人だからな。ここの畑でオレば使ってけさいん。野菜だったら何一つ知らないっつーことはないな」と話す声は自信にあふれています。そして「おかげさんで元気でこうしていられっから。ありがたく思っただ」と周りへの感謝を話されました。

熊坂馨さん

1931年9月29日生まれの90歳。仙台の四郎丸で生まれ育ちました。兄弟は、姉が2人、兄が1人、妹が3人の7人兄弟。28歳のときに、若林区荒井に婿に入ります。長年、農業一筋で、妻と二人三脚で苦楽とともに歩んできました。



聞き手・文：大友智恵子



このまち インタビュー Vol.3



技能実習生

ヌルヤンティ・エカ・ウランダリさん

日本での暮らしはどうか？

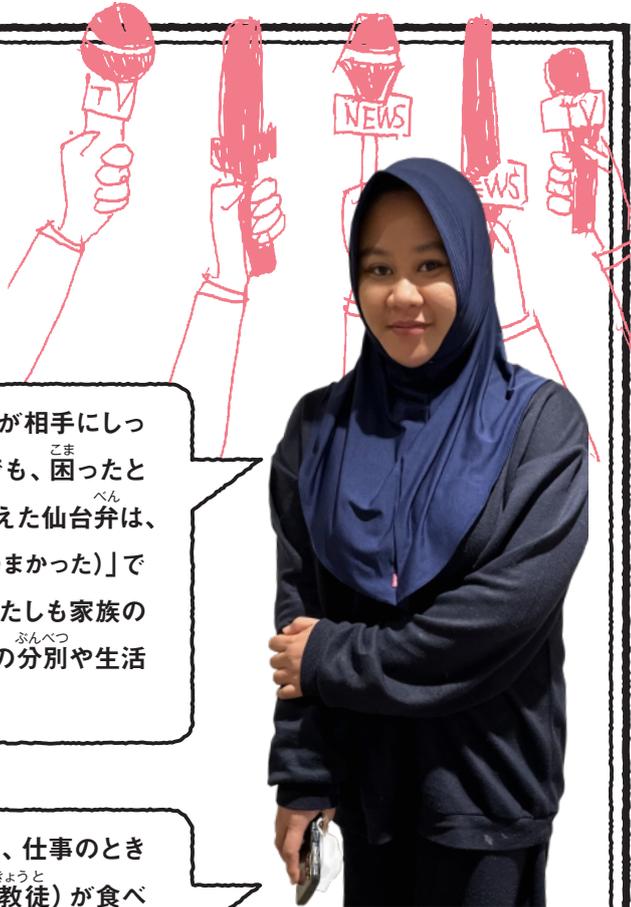
日本に来たばかりのときはずっと緊張して、自分の話したことが相手にしっかり伝わっているのか心配でした。特に方言に苦戦しました。でも、困ったときはやさしく教えてくれる人がたくさんいるので、安心しました。覚えた仙台弁は、「めんこい(かわいい)」「おぼんでがす(こんばんは)」「べこまけた(うまかった)」です。パートナー(利用者さん)が家族のように接してくれるので、わたしも家族のようにあたたかいかかわり方や声がけをところがけています。ゴミの分別や生活リズムにも慣れました。日本の食べものや飲みものも大好きです。

ウランさんが信仰しているイスラム教について教えてください。

お祈りをするモスク(礼拝堂)が近くにないので、休みの日は家で、仕事のときは施設のなかで1日5回お祈りをしています。ムスリム(イスラム教徒)が食べられる「ハラールフード」が売っているお店を見つけて、休みの日にはほかの実習生と一緒に買いものに行っています。年に一度の大事な行事「ラマダン」では、日の出から日の入りまでの断食が1か月間続くので、そのなかで仕事ができるかちょっと心配しています。

このまちでお気に入りの場所はどこですか？

安い物がいっぱいあって便利なので、よく「DAISO」に行きます。また、実習生4人で住んでいるアパートがお気に入りです。2023年4月に新しくできるシェアハウスもみんなで楽しみにしています。



1995年インドネシア南スラウェシ州生まれ。助産師の仕事を経て、アマリア・フィットリヤンティさん(集合写真右から2番目)、エンドリオノ・バキディンさん(左)、タマル・スプラティウィ・シマトゥパンさん(右)とともに2022年5月に来日。現在は、萩の風2階ユニットに勤務。趣味は料理。表紙に「ウランさんのナシゴレン」掲載。



聞き手・文：
佐々木亜優美

みんなの美術館



八重子さんの 手編み帽子



「手探りでも挑戦するんは好きだからな」とあつけらかんと話すのは、愛媛県松山市出身の澤田八重子さん(90歳)です。2022年には、萩の風キャンパスに引っ越してきてから、100個もの手編み帽子をつくり、周りの方にプレゼントしています。1個編むのに1時間、1日に4個つくる日もあるとか。「100均の糸でも十分なんよ」と、まさに「弘法筆を選ばず」なようです。手芸は専門的に学んだわけではなく、「やってみたらできた(笑)」と白い歯をのぞかせてらっしゃいました。ライフの学校では、パートナーさんやスタッフの杖やバッグなど、さまざまな場所に色とりどりの手編み帽子が揺れています。



文：佐藤航
写真：高橋香織

ライフの学校とは



ふくししせつ ちいき
福祉施設を地域にひらき、さまざまなひとが集う「学びあいの拠点」にしている社会福祉法人です。現在は、萩の風キャンパスのほか、霞目・上飯田・幸町の全部で4つのキャンパスと畑があり、高齢者福祉、障害者福祉を中心にさまざまなプロジェクトを行っています。



社会福祉法人
ライフの学校
https://gakkou.life

萩の風キャンパス せんだいしわかばやしつかみいいたあさてんじん 仙台市若林区上飯田字天神1-1

【利用案内】※どなたでも利用できます
嫁入りの庭 入居するパートナーと一緒にかつての嫁入り道具のようにやってきた家具や植木のある庭。ベンチには電源も。出入り自由。◎24時間365日(年中無休)
ライフの図書館 福祉や地域の図書が並び、自習室としても利用できます。◎時間=9:00-18:00(金曜は15:30まで)

駄菓子屋「かみふうせん」看板猫のふうたもお待ちしています。

◎時間=10:00-16:00(年中無休)
子ども食堂「おかえり」嫁入りの庭でとれた野菜も使用した料理は好評！◎日時=第3土曜、12:00-14:00

そのほかのイベント ウェブサイトでご確認ください。



ライフの学校



ウェルカム! カフェ



編集後記

春になり、花々が咲く景色をお楽しみに！ 福田

桜の成長が楽しみです、わたしは花より団子。 立花

ウランさんの学びたいと思う気持ち、わたしも見習います！ 高橋(さ)

赤ちゃんメダカに会える春が待ち遠しい。 畠山

庭でみんなで花見酒とか、したいですね〜 佐藤(わ)

いつも食べているお米も、数々のドラマを経てつくられているんですね。 板垣

おしらせ

ほぼ毎週、畑で採れた野菜を販売しています。

就労支援センターでは「みんなの畑」で野菜を育て、「嫁入りの庭」で販売しています。夏から冬にかけて、大根・白菜・雪菜・春菊・レタス・長ねぎを収穫しました。大根は「やわらかくておいしい!」という声が、天候等で変更する場合がありますが、今年は、ほぼ毎週インスタグラムのストーリーにて販売日や時間をお知らせします。



霞目キャンパスが完成しました!

1階にある就労支援センターでは「ウェルカム!カフェ」が5月2日にオープン予定です。バリスタに指導を受けたスタッフによるコーヒーや抹茶、煎茶、お酒、昔懐かしい洋食屋さんのごはんがどなたでもお楽しみいただけます。2階のシェアハウスにはインドネシアの技能実習生が住んでおり、いずれこれらのインドネシア料理もメニューに登場するかも?! 詳細は、SNSをチェックしてください!



霞目キャンパス(設計:トミターキテックチャ)

ばっけ味噌のおにぎり……食べたい…… 守

ウランさんはいつも元気! ぜひ手料理が食べたい。 村松

不器用なので、八重子さんの編み物のスキル、伝授してほしい。 高橋(か)

農業の発展ってスケールが違うなあ…… 佐藤(ゆ)

つくる人によって味が違うナシゴレン! 食べてみたいです! 佐々木

ライフの学校新聞 Vol.3 2023年春号
発行日:2023年4月20日
発行:社会福祉法人ライフの学校
宮城県仙台市若林区上飯田字天神1-1
022-289-8555

発行人:田中伸弥[ライフの学校]
編集:村松直美+守安里沙+福田明子+立花ゆりえ+高橋彩香+畠山待子+佐藤航+板垣浩太+高橋香織+佐藤優樹+佐々木亜優美[ライフの学校]、川村庸子、佐藤恵美
デザイン:阿部航太 写真:阪本勇
イラストレーション:渡辺果南+阿部貴志+菅波あけみ+安川皓[ライフの学校]